令和７年度　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 十日町福祉会	代表者	尾身　晴夫
事業所名	小規模多機能型居宅介護 事業所三好園四ツ宮	管理者	春川　さとみ

法人・事業所の特徴	十日町市の中心部に位置する事業所の利便性を活かして、街中や地域での行事にご利用者も参加しています。また、地域の人たちが住み慣れた地域での暮らしが継続していくことができるように相談等も受け入れをし、積極的に対応していきたいと思います。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	３人	０人	０人	２人	１人	０人	３人	０人	９人

項　　目	令和７年度の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	令和８年度の改善計画
A．事業所の自己評価の確認	午後のミーティング時に、ケース会議、利用開始後のモニタリングをプランに沿い確認、評価し、情報の共有、統一した支援を行っていく。	ケース会議の開催が必要時に行えず機能しなかった。	ケース会議が行われていないわけではない。利用前の周知がしっかりできることが重要ではないか。	スタッフ全員で評価項目理解を深めるよう、年度初めに計画の共有と中間に評価を行う。
B．事業所のしつらえ・環境	施設からの情報等を地域への発信を積極的に行っていく。	ホームページに行事等のお知らせ、地域の新聞への記事掲載により施設からの情報発信を行った。	ホームページは自分から見にいかないと見られない。来園者用に写真を掲示したらどうか。	利用者だけでなく地域の方にも気軽に入れる環境を作る。
C．事業所と地域のかかわり	地域行事への参加やボランテイアの受け入れで、様々な人から施設へ足を運んでもらう取り組みをする。	音楽、フラワーアレンジメントのボランテイアの方に定期的に来てもらうことができた。	特になし。	地域行事への積極的な参加、地域の方への情報発信をすすめる。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の地域生活の継続を支えるため、情報収集をし、社会資源等を活用できるよう、連携をしていく	地域行事には可能な範囲で参加しました。	きものまつりに参加していた。	地域の会議へ参加し、地域の状況把握に努める。
E．運営推進会議を活かした取組み	事例検討等を通して地域の情報を得、施設の役割を検討していく。	事例検討は未実施だが、地域委員会を中心に施設の枠割を検討し、行事等への参加や清掃活動を行った。	事例検討については今後検討していった方が良い。 地域の見守りができると良い。	施設の取り組みの報告からの助言、地域課題の共有をしていく。

Ｆ．事業所の防災・災害対策	防災・災害等を想定した訓練を通し、地域の消防団等との連携を深める。	地域の消防団から総合防災訓練の参加や協力をしてもらった。	マンパワー的に災害時の施設の役割は難しそう。 地域の防災訓練は行っていない。	防災・災害等を想定した訓練に地域の消防団等から参加してもらい、施設内の理解と連携を深める。